

教 育 研 究 業 績 書		
令和3年3月31日		
氏名 吉長 成恭 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
社会学、人間情報学、内科系臨床医学	病院・医療管理学、感性情報学、神経内科学、園芸福祉学	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例 マーケティングの現場見学	平成12年6月	電波媒体、広告制作会社等に引率し、現場での研修と討論。
国際協力事業団研修プログラムへの参加	平成12年2月 平成13年2月 平成14年3月	開発途上国の厚生関係公務員研修コースに学生を参加。国際感覚を養い、日本の介護保険制度について、英語で客観的に討論する機会を設定した。
学生アントロプレナーへの講義機会の設定	平成12年11月	医療福祉学部学生の学生企業家志望者に対し学内外の研修機会の供与と学内での個別指導。
福祉施設管理実習における自己評価法を開発	平成13年3月 平成14年3月	事後評価に関して学生の発表を各々が客観的に評価する方法を開発し、就職活動の一助を目的に実行した。
電通学生広告論文への参加指導	平成13年12月 ～現在に至る	専門演習学生に対し応募の促進と論文作成指導
ACC学生広告制作応募	平成15年7月	応募のための広告制作指導
多年次学生合同ゼミ合宿		3年次と4年次の学生の交流を深め、卒業研究の早期着手と充実を目的に、学外で合宿を行った。
教育力向上のためのFD委員会	平成16年度～平成18年3月	委員長としてFD推進プログラム実施 広島国際大学FD報告書編纂
SSPプログラム開発	平成17年度	学生と地域社会への絆づくりに大学が応援するための学生地域社会協働プログラムの開発と実施
職場見学	平成18年度	広島市内放送局（FM放送・地上波TV局）への見学を実施した。
ニュージーランド学生留学支援	平成19年度	学生の卒業論文作成に関し、海外短期留学（自主プログラム）を支援し、代替医療の現状分析目的でニュージーランド、ファーマストーンノースの環太平洋大学に留学させ、卒業論文にした。
2 作成した教科書、教材 ソーシャル・マーケティングに関する素材の調達	平成10年4月	ソーシャル・マーケティングツールの実物を収集提示。
教材用広報・広告スポットを電波媒体から編集	平成10年4月	講義に実物を供覧。
PFI現地調査スライド及び資料	平成11年4月 平成13年9月	イギリスにおける病院PFIの現地情報を新鮮な状態で分かりやすく専門演習に活用。
福祉施設管理実習マニュアル	平成13年2月 平成14年2月 平成15年2月 平成16年2月 平成17年2月 平成18年2月 平成19年2月	福祉施設管理実習マニュアル及び実習レポート作成に関するフォーマットの作成と導入。年次改定版作成 新カリキュラム用福祉施設管理実習マニュアル作成 新カリキュラム用福祉施設管理実習マニュアル作成 新カリキュラム用福祉施設管理実習マニュアル作成
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		

<p>5 その他 国際貢献</p> <p>(システム共同研究開発) 「モバイルホームヘルパー支援システム」</p> <p>夜間大学院で経済・経営学における金融工学の新しい知見の習得に努めた</p> <p>地域社会貢献</p>	<p>平成9年～14年</p> <p>平成17年12月7日</p> <p>平成22年3月</p> <p>平成23年3月</p> <p>平成24年3月</p> <p>平成10年度～平成12年度</p> <p>平成13年4月～現在に至る</p> <p>平成13年度</p> <p>平成16年度～17年度</p> <p>平成17年度</p> <p>平成17年度～</p> <p>平成17年度～</p> <p>平成18年度～</p> <p>平成18年度～</p> <p>平成19年度～</p> <p>平成19年8月～</p> <p>平成20年度</p> <p>平成20年度</p> <p>平成20年度～</p>	<p>国際協力事業団の高齢者ケアプログラムを開発しコースリーダーとして5年間実施。15カ国延べ50名の厚生関係行政担当者を研修員に迎え日本における高齢者介護の現状と問題点を議論する機会をつくり、プログラム、講演、施設・コミュニティ現場実習に対し多面的な評価を行った。</p> <p>国際協力事業団 フィリピン女性企業家育成支援プログラム講師として、フィリピン国立職業訓練分野行政官10名に企業家が成功するビジネスプランのポイントを5時間英語で講義した。</p> <p>タイ国厚生省医療サービス局および観光スポーツ省の依頼により、ISO TC 228に 健康サービス分野の国際標準化にかんするアドバイスを現地で行った。 タイ国立SSR大学学長の依頼により医療経営大学院のカリキュラム支援を行った。</p> <p>ISO9000 TC228 WG2の国際会議に招聘されアドバイスをを行った。現在に至る</p> <p>タイ国厚生省およびタイ国厚生省医療サービス局および観光スポーツ省主催国際セミナー（バンコク）招聘に対し、「健康に関する日本の動向」について基調講演を行った。</p> <p>介護保険制度導入に伴う、福祉サービス事業者向け携帯端末機器を用いた支援システムの開発と商品化。ホームヘルパー勤務管理及び居宅サービス計画、給付管理業務、国保連合への給付管理票、介護給付費支給所などを、サービス実施段階で一連の流れをパソコンで簡単迅速かつ効率よく行うシステム。この開発結果を学生及び国際協力事業団の高齢者介護コースのプログラムに組み込み日本の地域ケアとIT産業の具体的事例を教材に用いた。 (共同開発者：株式会社NTTドコモ中国MC事業部、<u>吉長元孝</u>（成恭）、小林暁峯)</p> <p>再度、就学の立場をとり、変化する社会科学の技術を習得し、学生からみた教育法の必要性を認識した。この社会人の立場における就学経験を自らの教育活動に役立てている。</p> <p>市町村合併に伴う安芸高田市の近隣市町村行政への地域福祉プログラムの供給。</p> <p>広島県教育委員会</p> <p>広島県立可部高等学校移転整備事業に係る民間事業者選定審査委員会委員長</p> <p>呉市行政改革推進委員会委員</p> <p>広島市民科学技術カウンセラー委託委員</p> <p>東広島市総合計画審議会委員</p> <p>呉市音戸ロッジ再整備事業（PFI）に係る民間事業者選定審査委員会 委員長</p> <p>広島県廿日市市 新宮島水族館整備事業（PFI）に係る民間事業者選定審査委員会 委員長</p> <p>東広島市公共事業監視委員会 委員</p> <p>ちゅうごくPFI/PPP推進会議 長</p> <p>財団法人 ちゅうごく産業創造センター 調査・事業化推進委員会 委員長</p> <p>財団法人 ちゅうごく産業創造センター「中国地域における健康サービス産業創出調査」委員会委員長</p> <p>財団法人 ちゅうごく産業創造センター「PFI事業の地域経済への波及効果調査」委員会委員長</p> <p>中国地域コミュニティビジネス/ソーシャルビジネス推進協議会 幹事長 中国経済産業局 中国地域ニュービジネス協議会、ひろしまNPOセンター</p> <p>日本園芸普及協会 理事長</p> <p>日本クリニカルガバナンス研究会会長</p>
<p>職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項</p>		
<p>事項</p>	<p>年月日</p>	<p>概 要</p>
<p>1 資格、免許</p> <p>医師免許</p> <p>漢方専門医</p> <p>産業医</p>	<p>昭和56年11月</p> <p>平成7年4月</p> <p>平成23年8月</p>	<p>第263485号</p> <p>第8941089号</p> <p>第1101241号</p>

2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他 就職部長 英語教育 大学院での教育 国際交流推進委員会 FD委員会委員長 図書館運営委員会 副委員長 課題検討委員会 広報推進委員会 大学シンボルマーク制作WG 国際交流センター 研究支援センター 学生委員会 教務委員会 教学企画運営部門WG 地域連携センター 入試センター	平成11年4月～平成13年5月 平成11年4月～現在に至る 平成12年度～現在に至る 平成15年 平成16年4月から18年3月 平成16年度～ 平成16年度～18年度 平成16年～平成18年度 平成25年度～27年度 平成25年度～27年度 平成25年度～27年度 平成27年度～28年度 平成28年度～ 平成28年度～	学生に自己発見レポートに基づく客観的評価法の導入により就職に対する早期からの動機付けを促した。これにより学生の向学心を育んだ。 TOEICの導入。 社会的に評価の高い国際コミュニケーション英語能力テストを在学中に年数回実施することで、在学中に学生の英語能力の向上を図っている。 受験料も学校法人の奨学制度を利用し学生に受験し易くする方法を就職部長として提案した。 広島大学教育学系大学院で障害児病理特講を広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻病態探求医科学講座脳神経内科学で組織改組により総合講義「老年医学」として、高齢者医療分野における医学的側面と、高齢者医療費及び医療・福祉マーケティングの内容にふれ医療の社会的側面を教授している 国際交流推進委員会委員 教育力向上のためのFD委員会委員長として、授業評価、成績評価、授業改善のWGを編成し、全学的なFD活動を推進した。平成18年3月目途に初めての報告書を編纂。 図書館運営に関する学内委員会の副委員長 アドミッションポリシーの言語化、ポジショニング形成、学部学科改組検討を行う課題検討委員会委員 広報推進委員会委員 大学シンボルマーク制作WGの委員長 センター所属業務として留学生の支援 センター所属業務として助成研究者支援組織化（広島大学他） しあわせ度調査表の提案と運用 東広島市大学連携型CCRC構想 咲楽塾講義 入試広報戦略支援 東広島市地区医療福祉機関連携奨学金の契約企画 高校出張講義

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 建築の彩時記	共著	平成2年11月	INAXギャラリーINAX BOOKLETvol.10, No.2株式会社INAX	企業のメセナ活動して開設しているINAXギャラリー（東京・京橋）における「建築の彩時記-港町・函館こすり出し」と題した展覧会に併せて刊行される有料のブックレット。函館の洋風建築における時層色環についての調査とコンピュータグラフィックスによる色彩変遷の分析。（83頁） （赤瀬川原平、吉長元孝（成恭）、村岡武司、角田一豊、河原馨、上山寛） 担当部分：四都市。路上サミット-観察と行為、それぞれの現状から都市のイメージについて考現学から路上観察への新たな展開を論じたもの。（pp.77～83）

2	いま、中国地域が動く・地域活性化へのメッセージ	共著	平成3年2月	地域交流出版中国・地域づくり交流会編	中国五県に関わる国（建設省中国地方建設局、中四国農政局、中国通算局、運輸省第三港湾建設局）、県、市町村、民間企業、学者、個人で構成される中国地域づくり交流会の組織化、道の駅の提案など、中国地方の地域づくり支援のための画期的な人的交流の仕組みと、地域活性化充実のための具体的提案書。(281頁) (西山啓、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、齋藤武次郎、Mutumi R. Mizuno) 担当部分：1) 第六章 地域振興の発想 地域振興策としての脳内リゾート開発とB&B (bed & Breakfast) 運動による都市・農山漁村の交流人口創出提案。(pp. 223~234) (小林潔司、小林正典、林瀬直幸、河野哲男、松岡温彦、安藤周治、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、山本喜介) 2) 第七章 人づくりの発想 こころと身体の調和した地域社会の形成について、病気と社会現象の歴史を省みながら、自然環境に調和した健康社会づくりを提案。(pp. 245~246)
3	'92 美術ひろしま (1992年版)	共著	平成4年3月	財団法人広島市文化振興事業団	81年本事業団設立と同時に毎年刊行される広島市における優れた市民美術作品の掲載と美術界の動向を記録した年鑑。(184頁) (金田晋、永田雄次郎、竹澤雄三、原田佳子、寺本泰輔、村上勇、高木茂登、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、渡辺守之) 担当部分：企業の文化推進と地方都市イメージの相互作用がどのような状況にあるかを述べたもの。地方公共団体の文化関係予算の変化、公益信託の財産残高と受託件数推移、GNPと広告費の伸び率などを提示しながら、企業、文化論がどのような形で地域貢献し地方都市イメージと関係しているかを具体例で示したもの。(pp. 164~169)
4	園芸セラピープログラム事例集	共著	平成9年5月	財団法人日本緑化センター	園芸セラピーをさまざまな障害者、高齢者を対象に実際に適用する場合に参考となるプログラム等の事例および基本的な考え方を紹介する。英語版図書類の翻訳による再編集。(130頁) (グロッセ・世津子、 <u>吉長元孝(成恭)</u>) 担当部分：内容全般にわたる医学用語翻訳監修。(pp. 1~130)
5	園芸療法実践のためのガイド A Practical Guide for Horticultural Therapy	共著	平成9年8月	財団法人日本緑化センター	園芸療法実践者向けガイドとプログラムの翻訳監修。(203頁) (グロッセ・世津子、 <u>吉長元孝(成恭)</u>) 担当部分：内容全般にわたる医学用語翻訳監修。(pp. 1~203)
6	園芸療法のすすめ Horticultural Therapy	共著	平成10年3月	創森社	園芸療法導入の啓発書。(301頁) 監修、編著 (<u>吉長元孝(成恭)</u> 、塩谷哲夫、近藤龍良) 担当部分：内容全般にわたる監修と著述。(pp. 1~301)
7	園芸療法と高齢者 Horticultural Therapy and the Older Adult Population	共著	平成10年10月	財団法人日本緑化センター	園芸療法を、高齢者および介護者を対象に実際に適用する場合に参考となるプログラム等の事例および基本的な考え方を紹介する。(184頁) (グロッセ・世津子、 <u>吉長元孝(成恭)</u>) 担当部分：内容全般にわたる医学用語翻訳監修。(pp. 1~184)
8	医療・福祉PFI	共著	平成11年4月	日刊工業新聞社	英国におけるPFI第一号病院プロジェクトの事例調査研究と日本におけるPFI導入可能性を検討。(200頁) (森下正之、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、小林暁峯、立岡浩) 担当部分：医学用語全般および第三章執筆。(pp. 138~174)
9	農業技術体系花卉編4	共著	平成12年3月	社団法人農村文化協会	農業技術体系花卉編全12巻のうち、人間植物関係分野において特集された第4巻。心の癒しと花卉の関わりについて。(788頁) 担当部分：神経科学の立場からその観察法および評価法について論説したもの。(pp. 755~760.)
10	広島発ケナフ事典	共著	平成12年3月	創森社	環境親和型植物であるケナフの教育、環境に関する開発書。 担当部分：園芸療法分野におけるプログラム素材としてケナフ可能性に関して、医療福祉分野でのNPO活動の啓発・支援を考察。(pp. 128~131)
11	INVESTING with your VALUES	邦訳監修	平成12年10月	Bloomberg社	環境、教育、医療・福祉などの分野に対する投資つまり社会的責任投資に関する投資概要とリスク評価と管理に関する邦訳。(329頁) (共訳者名： <u>吉長元孝(成恭)</u> 、Ms. Chiaki Sugishita、Ms. Yuko Yamazaki、Ms. Emily Tio) 担当部分：全本文の邦訳と内容監修。
12	実践 医療・福祉PFI	共著	平成13年9月	文化社	開業した英国におけるPFI第一号病院プロジェクトの事例の継続調査研究報告と、日本におけるPFI導入可能性を検討。(200頁) (森下正之、小林暁峯、 <u>吉長元孝(成恭)</u>) 担当部分：医学用語全般および第三章執筆。(pp. 138~174)
13	園芸福祉のすすめ	共著	平成14年3月	創森社 日本園芸福祉普及協会	園芸福祉分野のマーケットの現状と動向、および実践プログラムと医療・福祉。NPOにおけるマネジメントについての導入書 (301頁) 監修、編著 (<u>吉長元孝(成恭)</u> 、近藤龍良) 担当部分：内容全般にわたる監修と著述。(pp. 32~34、pp43~50、pp64~66、pp161~162)

14 SOCIETE ET PUBLICITE NIPPONNES KALEIDOSCOPE DU JAPON CONTEMPORAIN	共著	平成14年4月	Librairie YOU FENG PARIS	近年のバブル経済崩壊前後の日本におけるマーケティングの変化、とりわけ広告表現に関する国内外の比較、表現分析などをパリ大学アジア・オリエント部門の教員と共同講義を行い、その内容を、マーケティング分野、広告研究者及び実務家と大学院生対象に各執筆者が例を挙げて論じたもの。(298頁) (TchinKANEHISA, Toshio YAMAKI, Haruyuki YOSHINAGA 他6名) 担当部分: Communication publicitaire des collectivités locales au Japon - résultats et analyses des spots télévisés日本の地方自治体における広報・広告コミュニケーションのうち、特にテレビCFの広告表現の効果測定を行い、その結果から公共・非営利組織のマーケティング手法のうち広告、コミュニケーションについて研究したもので、1996年にパリ大学(VII)及びフランス国立パリ高等商学研究院で行った講義内容を要請に応じ出版したもの。(pp.9-1~9-18)
15 花卉園芸大百科6 ガーデニング・ハーブ・園芸療法	共著	平成14年3月31日	社団法人農山漁村文化協会	ガーデニング・ハーブ・園芸療法に関して、一般園芸家から専門家をカバーする園芸知識の最前線を編集したもので、ガーデニングと花壇、園芸療法、花壇苗の生産について専門的に記述。(349頁) (松尾英輔、吉長元孝(成恭)、藤原茂、弟子丸元紀、北出俊一、北澤眞悟、他30名) 担当部分: 園芸療法特に心の癒しと花卉の関わりについて。担当部分: 神経科学の立場からその観察法および評価法について論説したもの。p.p. 79~84
16 クリニカルガバナンス 病院・診療所における医療経営管理の実務 Ruth Chambers/Gill Wakley2000. Radcliffe	共 翻訳	平成16年2月	日本医療企画	イギリスの医療政策における、医療の質に関してリスク管理他、病院及診療所の組織に求められる業務の向上について、医療機関の管理者むけに書かれた、系統的アプローチとプログラムの実務書の翻訳書 (吉長成恭、小林暁峯) (238頁)
17 園芸福祉をはじめる	共著	平成16年6月	創森社 日本園芸福祉普及協会	園芸福祉活動の全国事例集の総括として、園芸福祉分野での障害者雇用促進や高齢者雇用のためのビジネスモデルを解説したもの。 (吉長成恭ほか) (186-200頁)
18 園芸福祉 実践の現場から	監修	平成18年12月	創森社 日本園芸福祉普及協会	園芸福祉活動の全国事例集 日本全国の実践事例を編集したもの (吉長成恭ほか)
19 園芸福祉入門	編著	平成19年6月	創森社 日本園芸福祉普及協会	初級園芸福祉士養成講座用テキスト兼一般入門書 (吉長成恭ほか)
20 園芸福祉 地域の現場から	監修	平成20年2月	創森社 日本園芸福祉普及協会	園芸福祉活動の全国事例集日本全国の地域実践事例を編集したもの(吉長成恭ほか)
21 Nursing Business わかる・使える看護マーケティング超入門	共著	平成22年12月	MCメディカ出版	第一章 なぜ、看護にマーケティングが必要なのか?を担当(単)
22 Green Nature Human Nature 『植物と人間の絆』	監訳	平成26年6月	森創社	原著“Green Natur Human Nature The Meaning Plants in our Lives” チャールズ・A.ルイス 1996年イリノイ大学出版会の全訳。 園芸療法、園芸福祉学を学ぶ人々に対し、植物の効果と人間の生活における意味についての邦訳。 療法としての園芸の適用について、障害者の病理を踏まえ、身体障害者リハビリテーション施設、発達障害者施設、高齢者施設、精神病院、更生施設(刑務所)におけるプログラムと効果について事例を挙げて身体的、心理的、精神的効果を論説した。 日本人間植物関係学会および日本園芸療法学会の基盤となった米国の長期調査。
23. 地域共生社会の実現とインクルーシブ教育システムの構築 これからの特別支援教育の役割	共著	2017年2月	あいり出版	第3部 共生社会の実現に資する社会企業の役割5章 世界の社会的企業の歩みと現状-英国・香港を中心に-英国における公共サービス調達の抜本的改革のうち公民協働による政策について、とりわけ障がい者雇用について英国の代表的事例とその政策変換に影響を受けたと考えられる香港特別行政政府の障がい者雇用政策で社会的インパクトをもたらしている社会的企業の事例を解説。日本における地域共生社会の実現とインクルーシブ教育システムの構築について、障がい者雇用から論説した。副題は「これからの特別支援教育の役割」で 第三部5章を「共生社会の実現に資する社会的企業の役割」として、英国の公共サービスとりわけ社会的企業の推進政策の解説と障がい者雇用と社会的企業の事例として、英国および香港の事例を掲示し解説ののち、日本におけるソーシャルインパクトボンド(SIB)制度の確立、社会的責任(SRI)、社会的責任投資(SRI)の投資文化の必要性について論説
24. デジタル医療・介護を一般診療において実現させる	編著・共訳	2019年5月	日本医療企画	英国の公的医療制度下で生まれたTECS(Technology Enabled Care Services)の概念が、地域包括ケアによる医療・介護サービスの在り方に大きな影響を与えている現在、わが国の逼迫する医療福祉財政において、サービスの質と量的改革の課題解決の一助になることを解説。英国NHSの書き下ろし著述を翻訳するとともに、日本における医療福祉サービスにおけるデジタル教育・デジタル技術の導入について必要性を論じた。

(学術論文)				
1 家族性アミロイドーシスの死亡原因 —特に心の自律神経支配の障害について	共著	昭和60年3月	Annual Report of the Ministry of Health and Welfare Primary Amyloidosis Research Committee, Japan 1984年版pp.221～224厚生省	顕著な自律神経障害と多発性神経障害を主張とする難病の家族性アミロイドーシスにおける、一般臓器へのアミロイド沈着の病理解剖所見は既報しているが、今回は、病理学的検索にもとづく死亡原因を調べた。すでに心電図上の種々の調律と伝導異常は報告されているが、この研究によって形態学的立場から心臓の自律神経支配の障害を捉えた。(4頁) (鬼頭昭三、山村安弘、糸賀叡子、岸田健伸、石崎文子、下山政憲、安部明夫、十河正典、時信弘、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、原田俊英 他4名) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
2 シティ・アイデンティティの研究 —抽象過程と具象過程の広告論的考察	単著	昭和62年3月	広島修道大学大学院(修士論文)	地域活性化時代にあつて、地方都市のCI計画と現状について、公共・非営利組織体のマーケティング中で広告コミュニケーションを脳における感覚の神経伝達のアナロジーを用い、分析した。(114頁)
3 糖尿病性ニューロパチーの免疫組織化学的および組織科学的研究	共著	平成元年3月	ニューロパチーの成因及び治療に関する研究1988年版pp.82～86 厚生省・精神・神経疾患研究委託費	糖尿病性末梢神経障害において、高血糖とpolyol経路、myoinositol, Na/Kイオン依存型ATPaseと神経伝達との密接な関連が指摘されているが、形態的な場面で捉えた研究はなかった。そこでこれらの障害メカニズムを糖尿病ラットの神経系において検索した。(5頁) (山村安弘、鬼頭昭三、片山禎夫、 <u>吉長元孝(成恭)</u>) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
4 神経痛に対するFloctafenine(イダロン錠)の臨床評価 —Mefenamic acidを対照薬としたシングルブラインドテスト—	共著	平成元年3月	診療と新薬第26巻,第3号pp.49～56 医事出版社	神経痛治療薬であるFloctafenineの薬効についてMefenamic acidを対照薬としてシングルブラインドテストを行ない、その臨床的評価を研究した。(8頁) (片山禎夫、十河正典、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、原田俊英、石崎文子、郡山達男、三次理恵、下山政憲、山村安弘、鬼頭昭三) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
5 A Light and Electron Microscopic Study of Calcitonin Gene-Related Peptide in the Rat Caudate Putamen	共著	平成元年4月	Brain ResearchVol.22(4)pp.657～663 Pergamon Press plc	ラットの尾状核、被核における神経伝達物質カルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)の脳細胞の微細構造を、免疫組織化学的手法を用いて可視化し、光学顕微鏡と電子顕微鏡で該当する脳細胞を観察した英文の論文。(7頁) (岡山勤、窪田芳之、鬼頭昭三、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、島田昌一、高木宏、稲垣忍) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
6 Light and electron microscopic studies of calcitonin gene-related peptide-like immunoreactive terminals in the central nucleus of the amygdala and the bed nucleus of the stria terminalis of the rat	共著	平成元年6月	Experimental Brain ResearchVol.77pp.217～220 Springer-Verlag	神経情報伝達物質の一種CGRPについて、ラットの扁桃核の中心核と線条体基底核における微細構造と分布を免疫組織化学法を用いて可視化し、光学顕微鏡と電子顕微鏡で観察し、考察を加えた英文の論文。(4頁) (島田昌一、稲垣忍、窪田芳之、鬼頭昭三、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、高木宏) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
7 糖尿病における血圧日内変動	共著	平成元年8月	医学のあゆみ Vol.150, No.8pp.567～568 医歯薬出版社	糖尿病患者の自律神経機能検査のうち、悲観血的携帯型自動血圧計を用いて、その特徴を検討した。結果として、糖尿病罹患期間と覚醒時・睡眠時の平均収縮期血圧との差に有意の相関がみられた。また、交感神経と副交感神経は共に障害をうけているが、特に交感神経の障害が強いことが明らかになった。(2頁) (原田俊英、鬼頭昭三、郡山達男、片山禎夫、十河正典、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、石崎文子、山村安弘) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
8 ラット前障におけるニューロペプチドYニューロンの分布及び微細構造	単著	平成2年2月	広島大学医学雑誌第38巻第2号pp.475～485(博士学位論文)	パーキンソン病やアルツハイマー病の大脳皮質や大脳基底核でニューロンペプチドY(NPY)は免疫活性の変化が報告されているが、記憶を司る海馬や大脳皮質と密接な神経線維連絡を持つ、線条体に属する前障のNPYニューロンの微細構造は研究されていなかった。そこで免疫組織化学的方法で光学顕微鏡と電子顕微鏡を用い分布と大脳皮質ニューロンとNPYニューロンを観察した。(11頁)
9 糖尿病における血圧日内変動に関する検討 —自律神経機能との関連	共著	平成2年7月	広島醫學 第43巻 7号pp.1156～1164 広島医学会	糖尿病における血圧の日内変動を観察し、その自律神経機能との関連性を検討した。その結果、交感神経機能異常に大きく関係していることが判明した。(9頁) (原田俊英、郡山達男、片山禎夫、十河正典、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、石崎文子、山村安弘、鬼頭昭三) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。

10 医学教育における人工知能による教育効率化の研究	共著	平成3年3月	平成2年度教育研究学内特別経費による研究広島大学	医学生のための心電図入門テキストをパーソナルコンピューター（マッキントッシュ）を用いた自習用教材として研究開発したソフトウェア。ファジィ学会関連で行なった共同研究プロジェクトのアウトプット。 （2HD700ピクセル3枚と解説書10頁） （長町三生、翁長健治、佐和正敏、寺内睦博、松原行宏、吉永文隆、中村重信、吉長元孝（成恭）、務中昌己、大瀧滋） 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
11 若年性関節リウマチを合併したFahr病の一例	共著	平成3年10月	BRAIN and NERVE第3巻 第10号pp. 957～963 医学書院	若年性関節リウマチを伴ったFahr病の希有な症例を経験した。脳内石灰化症の発生機序に重要な示唆を与えうる症例と考えられ、この2つの病態には先天的な遺伝子レベルの異常が推定された。（7頁） （原田俊英、石崎文子、木下朋成、安部明夫、吉長元孝（成恭）、一ノ瀬孝彦、畑野栄治、本田英輔、亀尾等、中村重信） 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
12 Parkinson病の骨減少と臨床的特徴	共著	平成3年11月	医学のあゆみ第159巻 7号 pp. 449～450 医歯薬出版社	骨は特定しうる原因がなくても、加齢とともに生理的に萎縮してくる。また日常生活の活動性の低下や閉経後の女性ホルモンの減少によって骨萎縮は助長される。今回Parkinson病の治療薬であるdopa decarboxylase inhibitorが実験ラットで骨代謝に影響を与えるという報告から、臨床的にmultiple scanning X-ray photodensitometry法を用いて骨病変の特徴を検討した。（2頁） （石崎文子、原田俊英、片山禎夫、吉長元孝（成恭）、郡山達男、山村安弘、中村重信） 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
13 内科最近の動き－神経疾患	共著	平成4年1月	臨床雑誌「内科」第69巻 第1号pp. 53～59 南江堂	内科学の最近の動きのうち神経疾患（脳血管障害、痴呆、パーキンソン病、運動ニューロン疾患、脊髄小脳変性症、ニューロバシー、多発性硬化症、重症筋無力症、内科疾患に伴う神経疾患）に関する病理と治療法を述べたもの。（7頁） （中村重信、山村安弘、石崎文子、三森康世、郡山達男、原田暁、吉長元孝（成恭）、安部明夫、片山禎夫） 担当部分：重症筋無力症の最近の治療法と免疫担当細胞及びマーカーの変化について血液浄化療法を中心に述べた。（p. 58）
14 髄液細胞増加	共著	平成4年4月	検査と技術Vol. 20, No. 4pp. 338～341 医学書院	髄膜炎、脳炎、中枢神経系の炎症性疾患に不可欠な髄液検査について論じたもの。脳神経疾患の病態と密接に関係する髄液中の細胞の種類と増加の程度を正確に読みとり判断するための技術について記した臨床検査論文。（4頁） （阪田千種、吉長元孝（成恭）、中村重信） 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
15 瀬戸内海の引札－海道の広告表現に関する研究－	単著	平成4年12月	修大論叢 第14号pp. 51～72 広島修道大学大学院研究会	江戸末期から明治・大正・昭和初期にかけて瀬戸内海の石炭船の潮待ち港で見つかった引札49点の表現分析をおこなった。さらに、歴史的は背景の考察と瀬戸内海の地域イメージについて現在の広告媒体と比較考察した。（22頁）
16 神経内科領域における血液浄化法の応用	共著	平成6年8月	広島醫學Vol. 47, No. 8pp. 1, 269～1, 273 広島医学会	神経内科領域の疾患において、血液浄化法の適応と臨床効果について紹介し、自験例をもとに報告したもの。重症筋無力症など免疫性神経難病に対し、自己抗体や免疫関連物質などの病因物質を除去するという新しい治療法の開発と実施方法を解説したもの。（5頁） （郡山達男、吉長元孝（成恭）、山下拓史、中山隆安、田中英司、山村安弘、中村重信） 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
17 パーキンソン病における心電図QTc間隔延長－自律神経障害および突然死との関連－	共著	平成8年5月	脳神経Vol. 48, No. 5pp. 443～448 医学書院	パーキンソン病（PD）において呼吸・循環系の自律神経障害は、生命予後に直接関連する。今回、PDの心電図QTc間隔と自律神経機能の関連について考察した。また突然死とQTc間隔との関係についても検討した。結果、PD患者のQTc間隔は対照者に比較して有意に延長していた。QTc間隔の延長はYahr重症度と有意に相関していたが、羅病期間、治療期間とは相関しなかった。（6頁） （石崎文子、原田俊英、吉長元孝（成恭）、中山隆安、山村安弘、中村重信） 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
18 公共・非営利組織の広告－地方自治体のテレビCFにおける効果と表現分析	単著	平成9年7月	広告科学第35集pp. 135～141 日本広告学会	平成8年9月に行なわれた日本広告学会第27回全国大会に発表する内容を論文にしたもの。公共・非営利組織体、特に地方自治体（県）が出稿するテレビCFの効果測定と表現分析をセントラルロケーションテストで調査し、この種の広告のマーケティング上のポジショニング、効果的表現を研究したもの。（7頁）
19 園芸療法－その効用と実践	単著	平成10年11月	生活教育第42巻11号pp. 50～53. ヘルス出版	教育者向けの園芸療法の効用と教育分野での実践の関するもの。生涯教育、障害児教育などの分野で園芸療法を展開するにあたって、その歴史やプログラムの展開の紹介と実行するための留意点について言及。（4頁）

20 Horticultural Therapy	单著	平成11年6月	Farming Japan Vol. 33 No. 3 Jun pp. 35~ 40 Farming japan	農水省の外郭団体による海外協力事業支援のための手法としての園芸療法 の現状と分析を英語で論述。開発途上国に対する医療・福祉・保健分 野で海外協力プログラムの一つとして、園芸療法プログラムについて具 体的事例を挙げて解説。(6頁)
21 PFIと介護市場のマーケ ティング	单著	平成11年9月	季刊 中国総研、Vol. 3-3 No. 8、pp. 67~77 社団法人 中国地方総合研究セン ター	介護市場のマーケティングについて、民間資源を活用した社会資本整備 手法の適用と、可能性に加え、市場の発展について考察を加えた。(11 頁)
22 公衆衛生におけるソー シャル・マーケティングの活 用	单著	平成12年9月	公衆衛生 Vol. 64、No. 9 pp. 619 (11)~623 (15) 医 学書院	医療・保健・福祉分野における公共およびサービスに関して、マーケ ティング手法であるソーシャル・マーケティングやソーシャル・プロモー ションの実例を提示し、実際の手法詳細について言及。(688(80)頁)
23 「ソーシャル・マーケ ティング・コミュニケーション - 予防医療サービス市場に おける意識的消費と社会的責 任投資」	单著	平成15年6月	日経広告研究所報2003年6 月号pp. 36-41 日経広告研 究所	予防医療サービス市場のソーシャルマーケティングの必要性和CVM仮想的価 値評価法による歯科診療プログラムの開発、ソーシャル・マーケティ ング商品購入のインセンティブについて考察。(6頁)
24 「病院ウェブサイトにお ける薬剤部門のコンテンツの 調査研究」	共著	平成15年6月	社会薬学 Vol. 22、No. 1 June 2003	400床以上の200病院に関するウェブサイトのコンテンツ特に薬剤部門の 情報提供充速度、ナビゲーションシステムの日米比較、わが国のウェブ サイトにおける薬剤部門の掲載頻度と充足度の調査研究 (小林暁峯、吉長元孝(成恭)、恩田光子)(7頁)

25 「病院ウェブサイトの経営的価値の研究」	共著	平成15年10月	病院管理Vol. 40, No. 4 October 2003	病院経営的側面から病院ウェブサイトによる情報発信のコンテンツ調査研究。わが国における400症以上の365病院を対象に、経営理念と病気の外部評価、危機管理と広報の観点でメールアンケート調査、サンプル1255人の回答分析調査研究。 (小林暁峯、吉長元孝(成恭)) (9頁)
26 「福祉サービス市場における広告と広報・情報開示」	単著	平成15年10月	非営利法人10月号	顧客満足度醸成を目的に福祉サービス市場と医療サービス市場における広告と広報・情報開示の相違を述べ、さらに、福祉サービス市場におけるソーシャル・サービス・ガバナンスの提案と、マーケティング技術の適用について考察。(11頁)
27 「クリニカルガバナンス」	単著	平成17年2月	医業ジャーナルVol. 41 No. 2 2005	DPC時代の病院管理学特集のバランススコアカード、ベンチマーク、医療ISO、TQM、MQI、CS、病院のナレッジマネジメントの各論として、英国の医療の質向上のためのガバナンス手法を総説し、日本での、プライマリケアにおけるクリニカルガバナンスの必要性と具体的手法を論説したものの。(94-102頁)
28 「医療サービスの質向上のためのクリニカルガバナンスとRAIDモデル」	共著	平成19年7月	『実践経営』実践経営学会Vol. 44 2007	英国NHSの医療改革手法の中で、PFIに基づく公的病院の医療の質を向上するために用いられているマネジメントシステムについて、クリニカルガバナンスとRAIDモデルの有効性を研究した学会誌掲載論文。(17-22頁)
29 「コミュニケアとクリニカルガバナンス(前編)」	単著	平成21年2月1日	『病院』医学書院第68 巻第2号	英国のコミュニケアにおけるクリニカルガバナンスの現状を分析、医療福祉政策の改革の調査報告
30 「コミュニケアとクリニカルガバナンス(後編)」	単著	平成21年3月1日	『病院』医学書院第68 巻第3号	前編に引き続き、医師の免許更新制度、看護師のキャリアパスと継続的専門職能開発(CPD)および地域経済のエンジンとしての医療ニューディールについて、雇用の創出の立脚で展開。
31. 「2週間に一度のフラワーアレンジメントを楽しみながら行う認知症予防」【実践報告】	共著	令和2年 (2020) 3月31日	日本認知症予防学会誌 (ISSN 2187-3798) Vol. 9 No. 2, 2019	進藤丈典、中川勝喜、石倉英樹、大塚 彰、吉長成恭 脳機能の訓練を目的としたフラワーアレンジメント法を用いて、視覚ワーキングメモリーと空間認知メモリー課題で脳機能測定し、さらに介護者への主観的調査とFABを用いて高齢者の介護度別の症状重症化予防を則恵智した。共同研究者
32. Awareness of pain in individuals with intellectual and developmental disabilities in Japan.	共著	令和2年2020	アメリカ知的障害、発達障害学会American Association on Intellectual and Developmental Disabilities, Pittsburgh, PA.	Shinde, S. K., Yoshinaga, H., Barney, C., Genik, L., & Aso, K. (2020). Awareness of pain in individuals with intellectual and developmental disabilities in Japan. 日本における知的障害および発達障害者の痛みに関する気づき。日本における、福祉施設職員、学生、当事者家族における知的障害および発達障害者の痛みに関する理解度調査。共同調査研究
(学述論文)				
1 ラット前障における嗅内皮質の線維連絡について 【口頭発表】	共	平成元年10月	第30回日本組織細胞化学会	記憶の機能として重要な役割をもっている海馬の一部の前障のうち、嗅内皮質における神経情報伝達物質ニューロペプチドY, CGRP等の神経細胞分布とその線維連絡について、免疫組織細胞化学の手法を用い、その微細構造を電子顕微鏡で観察した。 (吉長元孝(成恭)、島田昌一、稲垣忍) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
2 Leucocytapheresisが著効を示した全身型重症筋無力症の一例 【口頭発表】	共	平成2年9月	第8回神経内科治療研究会	難治性、全身型重症筋無力症に対し、血液浄化療法として、白血球除去法を導入し、効果を得た。新しい治療法として、日立メディカルと協働し、白血球除去フィルターによる適応で症状の改善した症例報告。 (吉長元孝(成恭)、郡山達男、原田俊英、石崎文子、片山禎夫、十河正典、山村安弘、中村重信、鬼頭昭三) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
3 難治性重症筋無力症の中核神経障害と免疫異常に関する研究 【口頭発表】	共	平成3年11月	第15回日本心身医学会中国・四国地方会	重症筋無力症のなかでも特に難治性の全身型の一例について、中枢神経障害と心因的ストレスの関係を脳波と血液中の免疫マーカーで検索し、明確にした研究。 (吉長元孝(成恭)、山下拓史、石崎文子、中村重信) 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。

4 郵便局のトータルイメージに関する調査報告書 〔行政報告書〕	共著	平成5年3月	郵政省中国郵政局	中国郵政局が主催した郵便局のトータルイメージに関する委員会の委員としての報告書。(136頁) (小原誠、花輪恒、池田明子、川村雅美、マイケル・ジョン・リトルモア、松岡美栄、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、上坂幸市、吉田太一) 担当部分:「郵便局と地域性」。地域のイメージとCIの関係を事例紹介し、その展望、特に郵便局のイメージと郵便局を含む公共・非営利組織体のマーケティングの必要性と展開について、スライドを用いた発表を文書化し報告した。(pp.58~71)
5 西城町特定商業集積整備基本構想等作成調査報告書 〔行政報告書〕	共著	平成5年3月	西城町	中小企業庁、広島県が管轄する特定商業集積整備基本構想作成調査委員会の委員長として広島県比婆郡西城町の商店街活性化、町立病院の経営検討を含め、町のCI計画に連動するマーケティング調査報告書。(118頁) (<u>吉長元孝(成恭)</u> 、小暮宣雄、田中武志、上西津二、曾山和彦、石井和夫、渡辺孝則、稲山博司、村上英志、上松敏郎、三浦淳 他17名) 担当部分:委員長の為、全体内容の掌握と報告書作成責任を負う。(担当頁抽出不可能)
6 公共広告に関するHIT 〔Hakuhodo Improvement Test for A D〕 〔研究開発レポート〕	単著	平成7年4月	(株)博報堂研究開発センター	公共のテレビCFに関する表現分析とその広告コミュニケーション上の効果測定法の研究開発と事前事後の態度変容の解析。平成3年の総理府の世論調査に基づき約100素材の環境エネルギー関連テレビCFの広告表現分析と態度変容効果を測定した。脳神経の情報伝達のメカニズムと広告コミュニケーションのアナロジー及び記号論を用いて、広告効果測定法に客観性を持たせた。(59頁)
7 地域別広告・メディア事情・元気印の火種を絶やさぬ 広島企業〔記事〕	単著	平成7年9月	宣伝会議9月号p.137, 141 宣伝会議	宣伝、広告、マーケティング担当者向けの実務月刊商業誌(昭和29年7月発刊)。広島アジア競技大会後の広告経済状況のうち、好業績の地場企業の紹介と都市計画、商圏及び今後の経済動向の依頼投稿記事。(2頁)
8 公共・非営利組織の広告	共	平成8年9月	日本広告学会第27回全国大会	公共・非営利組織体(国、地方自治体、学校、病院、施設、財団、NPOなど)に必要とされるマーケティング活動のうち、近年、盛んに露出される公共・非営利組織の広告の特に地方自治体(県)が出稿するテレビCFの効果測定と表現分析をセントラルロケーションテストで実査し、この種の広告のマーケティング上のポジショニングと効果的表現を研究した。 (<u>吉長元孝(成恭)</u> 、香川不苦三) 担当部分:共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
9 アメリカに見る園芸セラピー 〔記事〕	単著	平成8年11月~平成9年6月	中国新聞中国新聞社	アメリカにおける高齢者福祉施設、小児リハビリテーション施設、各種病院の園芸療法の実践について1/3,6段で計50回の毎週連載。
10 園芸療法—その効用と実践	単著	平成10年11月	生活教育ヘルス出版	看護師向け地域医療看護における園芸療法の実践例とその効用について解説
11 広島県中央海域振興計画調査報告書 〔報告書〕	共著	平成11年3月	財団法人 中国産業活性化センターpp.1~213	医療福祉課題による地域振興策として、瀬戸内海島嶼部の5町の広域連携を前提に設定された健康の島づくり(アイランドセラピー)構想調査。調査委員会の副委員長の役職で報告。(213頁) (北川建次、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、道林清隆 他10名) 担当部分:全般にわたる関与のため仕分け不能。(pp.1~213)
12 なぜ今、園芸療法なのか 〔総説〕	単著	平成11年5月	AFF Agriculture Forestry Fisheriespp.8~11財団法人 農林弘済会	近年、日本において急速に関心が寄せられ始めた、園芸療法について、アメリカの現状と我が国の福祉分野のニーズを学会活動や行政施策の動向について解説したもの。(4頁)
13 社会的責任投資と社会銀行を訪ねて 〔視察報告〕	単著	平成11年5月21日	財団法人 中国産業活性化センターNo.49号pp.3~9	欧米の医療福祉、教育などの社会的課題に対してのみ投資する銀行の調査とそのポートフォリオ及び投資手続きについて、経済産業省外郭の財団機関紙に紹介。(56頁)
14 園芸療法の未来 〔総説〕	単著	平成11年6月	グリーン・エージ、No.306号pp.6~7財団法人 日本緑化センター	日本各地で設立された園芸療法研究会の地域活動についての特集。今度の園芸療法の展開について人材育成、国際協力分野の可能性と公園緑地の福祉的利用の規制緩和に基づく社会資本整備を論じたもの。(2頁)
15 「医療・福祉施設周辺の河川環境整備効果と水の癒し効果の調査」 〔報告書〕	単著	平成11年度	pp.1~101河川環境管理財団	河川に隣接する医療福祉施設における河川護岸整備の公共事業評価を、患者、利用者、家族、施設職員、管理者に対しアンケートによる調査分析研究を行った報告書。(101頁)
16 「福祉施設、医療施設等における健康法、療法としての園芸の活用に関する調査研究」、(研究分担者) 〔報告書〕	共著	平成11、12、13年度	文部省科学研究補助金基盤研究(B)(1)課題番号11460015	平成11、12、13年度の3年間に行った、福祉施設、医療施設などにおける健康法、療法としての園芸の活用に関する日本全国調査研究。(475頁) 担当部分:中国・四国地域の福祉施設、医療施設のうちアンケート郵送法で回答された1,134施設についてデータ分析、検討した。(pp.73~82、389~430)

17	PFIコンセプトと福祉の地域づくり 〔巻頭言〕	単著	平成12年2月	No.78Repis財団法人 日本建設情報総合センターp.1	PFIコンセプトと福祉マーケットの視点での地域づくり推進について、社会基盤整備の情報誌における提案。(1頁)
18	「マーケティング論」 〔口述発表〕	単	平成12年2月6日 平成12年11月19日	広島県商工会連合会 短期集中研修創業塾	労働省の雇用促進事業の一環として国民生活金融公庫の融資に関連して開催された創業支援のためのセミナーで8時間のニーズの高い医療福祉分野に焦点を当てたマーケティング論。最近のマーケティングの動向を実務について論説。
19	「医療・福祉PFI」 〔口述発表〕	共	平成12年3月27日	日本自民党政務調査会、党本部	議員立法で成立した民間資金等を活用した社会資本整備推進法と、研究課題であるイギリスの病院PFIプロジェクトについて、日本自民党政務調査会の招請で発表した。担当部分：研究会の全体進行と医療部門のPFIに関する発表及び質疑応答。
20	「医療福祉分野からみた社会資本整備」 〔口述発表〕	単	平成12年6月15日	建設省中国地方建設局	建設省の新規採用者研修におけるプログラムとして、医療福祉分野からみた河川、道路、公園、住宅等の整備に関する海外及び国内事例についての講義。
21	広島県内の福祉施設における農・園芸の現状 〔口述発表〕	単	平成12年9月	平成12年度園芸学会秋季大会	園芸学会の新しい試みとして行われた公開講座の内容。県内の福祉施設における農園芸活動の現状調査を報告。
22	「新しい社会的価値観による投資と収益—芸術・環境・教育・銀行」 〔口述発表〕	共	平成12年10月30日	経済文化講演会、シンクバンク研究所、中国新聞社、広島商工会議所(広島国際会議場)	欧米で盛んになった社会的責任投資(Socially Responsible Investment)活動について、社会におけるニーズについて論議。オランダ社会銀行の頭取、地元経済界、教育機関、マスメディアからの発言の取りまとめたもの。 担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
23	福祉用具のニーズ情報発信システム構築方策調査報告書 〔報告書〕	共著	平成13年3月	財団法人 中国産業活性化センターpp.1~211	福祉用具のマーケティングと製造技術のマッチングについて、ニーズとシーズを広島県が整備するITインフラを活用した情報発信システム構築と産業活性化についての調査報告書で、委員長としての責任を果たした。 (211頁) 担当部分：委員長として全般にわたり担当。
24	園芸福祉と地域づくり 〔総説〕	単著	平成14年2月	公園緑地Vol.62 pp.4~6 社団法人日本公園緑地協会	公園緑地に関して、長寿社会・健康づくりと公園緑地特集に寄せたもの。イギリスにおける地域医療福祉のソーシャル・インボルブメント手法とコミュニティ・マーケティングについて、タウンミーティング中心にボランティア組織との協働に注目した地域行政手法の紹介。(3頁)
25	「福祉サービスの質とコミュニティ・マーケティング」 〔口述発表〕	単	平成14年2月18日	広島県社会福祉法人経営強化講座広島県社会福祉協議会	特に老人保健法の実施と共に措置から契約に移行した福祉施設経営者ないしは中間管理職に対し、顧客満足を中心に福祉サービスの質とコミュニティ・マーケティングに力点を傾注した講義。
26	「医療経営を専門的に学ぶ学生の就職意識に関する研究」 〔口述発表〕	共著	平成14年6月22日	第51回日本病院学会	西日本において初めて医療経営学科を開設した広島国際大学が、2002年3月に卒業生を輩出する。その学生を対象として就職に関する入学当初の意識調査と、カリキュラムが進行し病院での学習などが終了した後の意識調査を実施した。この調査報告。演題抄録S226頁 (白髪昌世、 <u>吉長元孝(成恭)</u> 、河口豊、中田将風、後藤寛)
27	「中国地域の産業活性化と社会的責任投資」 〔調査報告〕	単著	平成14年6月	中国経済産業局広報誌METI 2002.06 p.p. 20~26	閉塞する経済状況や中国地域における産業活性化方策の提言を、スイス・オランダの社会銀行の現状を調査報告し、PPP(官民パートナーシップ)での公益田サービスの提供の重要性と企業組織の構造についてアライアンス型への構造変化の必要性を提示した論文。
28	「広告・広報の観点から見た病院ウェブサイトの研究」 〔口述発表〕	共著	平成14年8月	第40回日本病院管理学会	全国400床以上の病院200施設を対象に、病院のステークホルダーを考慮し、病院のウェブサイトに掲載される経営の基本姿勢、経営の室の評価、医療サービス情報の提供を分析し病院の広告・広報価値を研究したもの。演題要旨集127頁 (小林暁峯、恩田光子、 <u>吉長元孝(成恭)</u>)
29	「病院ウェブサイトに見る薬剤部門のコンテンツ分析」 〔口述発表〕	共著	平成14年11月	第21回日本社会薬学会	全国の病院データから500床以上と400床以上の100病院を対象に集計分析した。病院組織と組織内で働く人々の両方の視点で、病院ウェブサイトのうち病院薬剤部門と薬剤師に関するコンテンツがどのように扱われているかを分析検討した。演題要旨集44頁 (小林暁峯、恩田光子、 <u>吉長元孝(成恭)</u>)
30	「中国地域イノベーション促進方策調査策定報告書」 〔調査報告書〕	共著	平成15年3月	中国経済産業局地域振興課	中国地域の地域資源と市場メカニズムを活用した地域活性化及び地域再生プランの取り組みの意識調査と対応策検討、およびPFI・PPPの意識調査 (調査委員会 委員長として統括)
31	「重複障害をもつ成人のための園芸療法の効果測定」 〔口述発表〕	共著	平成15年6月4日	第3回人間植物関係学会	心身障害者施設(シカゴ市)における園芸療法を効果について、不安状態にたいする園芸療法プログラムの有効性についての共同研究 (<u>吉長元孝(成恭)</u> 、さとみ・木村・シンディ)

32 「高齢社会と園芸療法」 〔巻頭言〕	単著	平成15年7月	財団法人日本緑化センター2003年7月号	高齢社会をむかえて、21世紀の緑環境創造における、植物と対象者と園芸療法士がどのような相互関係を維持すべきか、カンザス大学のコンセプトを紹介しながら、日本の高齢社会における園芸のニーズを提示したものの。p p. 2-5
33 平成15年度『PPP（公共サービスの民間開放）による地域活性化モデル構築調査—地域統合型クックチル方式によるセントラル・キッチンシステム・プロジェクト—』	共著	平成16年3月	中国経済産業局地域振興課	中国地域の地域資源と市場メカニズムを活用した地域活性化及び地域再生プランの取り組みのモデル構築調査地域統合型クックチル方式によるセントラル・キッチンシステム・プロジェクト (調査委員会 委員長として)
34 「クリニカルガバナンス—病院の医療の質を高める組織管理プログラム」 〔口述発表〕	単	平成16年5月	福岡県医療法人協会	医療組織管理において学習する文化を醸成し医療の質を向上させる経営手法クリニカルガバナンスの解説
35 「クリニカルガバナンス—病院の医療の質を高める組織管理プログラム」 〔口述発表〕	単	平成16年9月	福岡県医療法人協会	医療組織管理において学習する文化を醸成し医療の質を向上させる経営手法クリニカルガバナンスの解説を著述
36 「プライマリーケアにおけるクリニカルガバナンス」 〔口述発表〕	単	平成16年12月	第1回日本クリニカルガバナンス研究会コンファランス（ブリティッシュカウンシル）	医療組織管理において学習する文化を醸成し医療の質を向上させる経営手法クリニカルガバナンスについてプライマリーケアにおける重要性和実施プログラムを発表
37 CSR（企業の社会的責任）概念の中小機械製造業への導入促進のための調査 〔調査報告書〕	共	平成17年3月	日本機械工業連合会	中国地方の中小機械製造業への導入促進調査に関し、ひろぎん経済研究所の日本機械工業連合会より受託調査。経済同友会、中国経済同友会、マツダ労組、広島商工会議所等で組織された委員会の委員長として取り纏め報告書。
38 中国地域における「地域展開型PFI」の推進・事業化発展方策調査報告書 〔調査報告書〕	共	平成17年3月	財団法人 中国産業活性化センター	中国地域における「地域展開型PFI」の推進・事業化発展方策調査と中国産業活性化についての調査と提案型報告書で、委員長としての責任を果たした。 (162頁) 担当部分：委員長として全般にわたり担当。
39 「プライマリーケアにおけるクリニカルガバナンスと糖尿病の管理」 〔口述発表〕	単	平成17年6月3日	第2回日本クリニカルガバナンス研究会コンファランス（英国大使館）	クリニカルガバナンス手法の各論のうち、プライマリーケアにおける糖尿病の管理について口述。
40 「クリニカルガバナンスによる医療の質向上の事例報告」 〔口述発表〕	共	平成17年6月	日本医療マネジメント学会第7回総会	医療マネジメントにおけるクリニカルガバナンスの必要性和英国の医療の質向上手法としての政策分析と、日本における地区医師会の役割について発表。（共同発表者：小林）
41 「プライマリーケアにおけるクリニカルガバナンス」 〔招聘講演〕	単	平成17年9月3日	医療マネジメント学会誌、No. 6-1. 2005/6. P301	医療マネジメント学会広島地方会設立における研究発表。クリニカルガバナンスの必要性和英国の医療の質向上手法
42 特別講演「医療の質を高める14の視点—クリニカルガバナンス」 〔招聘講演〕	単	平成17年6月29日	日本医療マネジメント学会第7回総会	招待講演イギリスのプライマリーケアシステムにおけるクリニカルガバナンス手法についての解説
43 医療サービスの質の向上のためのクリニカルガバナンスとRAIDモデル 〔口述発表〕	共	平成18年9月	医療マネジメント学会広島地方会設立記念講演	医療サービスの質の向上のために、継続的な専門職能開発を必要とする医療組織において、クリニカルガバナンスが、RAIDモデル手法を用いることの紹介とその他の組織への適用性を考察した
44 「農業分野における障害者就労を促すための課題と対応」 〔招聘講演〕	単	平成19年11月27日	「クローズアップ農の福祉力」中国四国農政局	障害者自立支援法の実施に伴う、農業分野における障害者就労機会についてのシンポジウムにおける講演とコーディネーター
45 『ヘルス・ケアシステムと社会投資の潮流』～英国の行財政改革PFI/PPPの10年から～ 〔招聘講演〕	単	平成19年12月15日	広島県技術士センター	公共事業調達におけるPFI手法について、英国の行財政改革の10年を振り返って、日本の現状とその課題解決を提案
46 「中国地域における健康産業の創出調査」報告書	共	平成20年3月	(財)ちゅうごく産業創造センター	健康産業について全国の実態調査と中国地域における健康産業のあり方および創出の可能性を調査し、クラスター形成を促すための方策について検討したもの。調査委員会委員長として統括
47 「植物観察における二次視覚の獲得とその応用」 〔口述発表〕	単	平成20年6月8日	人間植物関係学会2008年全国大会滋賀大学	植物の定点観測による脳内2次視覚の獲得プログラムの効果と園芸療法プログラムの関係についての試案

48 広告クリエイティブ 〔口述発表〕	共	平成20年7月16日	広島広告大学	広島広告協会が毎年開催する広島広告大学での講演。広島アートディレクターズクラブの組成に関して、広島広告業界におけるクリエイティブの現状の今後の課題について。
49 「PFI事業の地域経済への波及効果調査報告書」	共	平成20年11月	(財)ちゅうごく産業創造センター	PFIによって調査された公共事業の地域経済への波及効果について、刑務所、道の駅等の事例研究
50 「医療機関におけるポストPDCA」 〔招聘講演〕	単	平成21年2月28日	メディカルインブルーヴメント研究会	医療経営のマネジメントにおけるPDCAによるTQMの限界とRAIDモデルの有効性について、病院経営者および職員向け講演
51 「園芸福祉のすすめ～植物・農園芸の効用～」 〔招聘講演〕	単	平成21年3月2日	日本インドア・グリーン協会	インドアグリーン協会の総会における招聘講演 社会園芸の現況と意義について論調
52 「園芸福祉はたのしい」 〔招聘講演〕	単	平成21年3月27日	釜山市・福岡市花と緑の交流会	釜山市役所における講演。都市緑化をテーマに姉妹都市の福岡市との交流事業における基調講演。園芸福活動の普及と人材育成用の韓国語テキスト翻訳編纂が成果。
53 介護事業の運営から経営へ～マーケティング志向の福祉経営～〔招聘講演〕	単	平成21年7月2日	(財)介護労働安全センター 広島支部	介護政策制度の改訂にともなう、介護施設の経営近代化の要求に応えた、介護施設職員向けの教育セミナー
54 第23回 日本クリニカルガバナンス研究会 定例研究会〔研究口頭発表〕	単	平成21年10月9日	日本クリニカルガバナンス研究会	イギリス医療制度の現況について、プライマリーケアへのシフトと1.5次医療の施設整備について
55 世界の潮流 医療分野の価値破壊的イノベーションの台頭(前編)	共	平成21年10月号	日本医療企画 最新医療経営	米国医療界において現在、ハーバードビジネススクールのクレイトン・クリステンセン教授の「経営・マーケティング理論である『イノベーターのジレンマ』」へ関心が高まっている。医療におけるこの理論の適用を解説。
56 世界の潮流 医療分野の価値破壊的イノベーション台頭(後編)	共	平成21年11月号	日本医療企画 最新医療経営	前編に引き続き、破壊的イノベーションの推進事例として『ニュースウィーク』誌に取り上げられたIBMのメディカル・ホームを例に取りながら米国の公的皆医療保険制度との関係を言及。IBM主導による大企業等の雇用主、医療保険者、消費者団体、医師グループで構成される患者中心のプライマリー・ケア共同システムを解説。
57 「ソーシャル・キャピタル研究会」 〔招聘講演〕	単	平成21年11月17日	新潟市	政令市としての地域活性化のエンジンとして、新潟市が注目するソーシャル・キャピタル(SC)について、特にSCの健康の関連について新潟市市役所幹部職員向けレクチャー。
58 「地域コミュニティ推進フォーラム」 〔招聘講演〕	単	平成21年11月18日	新潟市コミュニティ推進協議会	社会福祉協議会とそのほかの営利・非営利の個人あるいは団体が構成されるコミュニティ推進協議会の事例発表に対する総評と地域づくりに関する先行事例紹介
59 第24回 日本クリニカルガバナンス研究会 定例研究会 〔研究口頭発表〕	単	平成22年1月24日	日本クリニカルガバナンス研究会	コミュニティケアとクリニカルガバナンス (1) GPN (General practice nurses)のキャリアフレームワークについて
60 『高齢化社会における「多世代コミュニティ形成」等による中心市街地活性化方策調査』報告書 〔報告書〕	共	平成22年3月	財団法人 ちゅうごく産業創造センター	高齢社会における中心市街地活性化の方策として、多世代コミュニティ形成による住環境とエリアマネジメント、ソーシャル・ビジネス等に関する先行事例調査および政策提言。調査委員会委員長として統括
61 英国医療に見るヘルスケアの変換期におけるソーシャル・マーケティングの重要性	共	平成22年4月号	日本医療企画 最新医療経営	英国の医療介護福祉制度と日本の医療・福祉制度の共通点および英国の国民医療・介護福祉分野での改革の内容を解説。さらにプライマリーケアへのシフトにおけるソーシャル・マーケティング手法についての特徴すべき考え方について。
62 「医療大改革：分権と大社会確立」の世界的規模の衝撃波～破壊的イノベーションに支えられた国民皆保険・保健制度へ～	共	平成22年11月号	日本医療企画 最新医療経営	英国におけるキャメロン保守党の連立政権における医療制度の大改革を現状調査に基づいて分析し、日本の医療制度改革の影響を示唆した今後の方向性を提示。

63 医療の質と効率性の評価を通じて切れ目のない医療と財政負担の軽減を図る米国メディケア改革の最前線～改革推進の新たな仕組みACOs (Accountable Care Organizations) ～	共	平成23年8月最新医療経営	日本医療企画	米国における少子高齢化に対応した、高齢者・障害者むけ公的医療保険であるメディケア改革の現状を解説。
64 ひっ迫する財政状況の打開にむけ始まった米国社会保障費抑制策 医療分野のACOsを通じた強制的なシームレス連携	共	平成23年11月最新医療経営	日本医療企画	メディケア改革の一環として進められるACOsにたいしては、初期治療を担う医師と急性期病院が連携ネットワークを結成し、組織に医療・保健・健康に関するニーズに応える責任を課すACOs は質と効率を高めよう期待が大きい波半面、自院の利益だけを追求してきた関係者からは反対の声が挙がっている。この改革の方向性を検証。
65 『日本における健康動向について』健康動向に関する国際会議 パンコク [招聘基調講演]	単	平成24年3月	タイ国厚生省・ツーリズム・スポーツ省	国際標準規格ISOのうちサービス関連認証分野で検討されている、健康ツーリズム関連サービスTC228のWG2における会議に合わせて開催された、健康に関する国際会議の招聘講演。 ドイツ、フランスと日本における健康に関する各国の動向について講演。
66 地域再生におけるソーシャル・ビジネスの課題と展望 [招聘講演]	単	平成24年3月	日本NPO学会第14年次大会 広島市立大学	運営委員会企画パネルとして、社会的企業、CSR、ソーシャル・マーケティングの経緯と英国や香港の事例を挙げて解説。
67 市民協働によるソーシャルビジネス展開を通じた産業振興可能性調査 [報告書]	共	平成24年3月	公益財団法人ちゅうごく産業創造センター	少子高齢社会の社会的課題の解決を目指す事業者の取り組みを市民協働や産業振興という視点で捉え、ソーシャル・ビジネス事例調査によりCSF (Critical Success Factor) をSWOT分析手法で抽出し報告。調査委員会委員長として統括
68 教育講演「園芸療法・園芸福祉学の研究方法論」 [招聘講演]	単	平成24年10月20日	日本園芸療法学会全国大会in 岐阜	園芸療法・園芸福祉学の分野におけるエビデンスの取り方及び研究方法についての学会員向け教育講演
69 英国医療大改革の財前線英子医療改革から質と効率性の向上を考える [解説]	共	平成24年12月最新医療経営	日本医療企画	キャメロン保守連立政権によるNHS改革について、高齢社会における医療・介護サービスの効果の最大化について解説。
70 『中国地域における「道の駅」の地域振興に果たす役割および防災拠点化活用調査』 [報告書]	共	平成25年3月調査報告書	公益社団法人 ちゅうごく産業創造センター	東日本大震災時における道の駅の防災機能と地域振興機能について、アンケート、ヒアリング、現地調査データを収集し、新たな道の駅の価値について現状分析及び経営分析を検討した報告書。調査委員会委員長として統括
71 病院経営に必要な個本的な要素とは	単	平成25年12月サクセスネット	PHP研究所	「医療の質」と「経営の質」について、病院経営者対象の解説
72 園芸療法は社会を変える巻頭言	単	平成26年3月グリーン・エイジ	日本緑化センター	園芸療法の本邦導入20年の経過と現状及び将来性についての解説
73 「世界の医療・介護サービスの新潮流の最前線」前篇	共	平成25年12月最新医療経営 フェイズ・スリー	日本医療企画	英国における医療介護の改革と現状及び将来性についての報告
74 「世界の医療・介護サービスの新潮流の最前線」後編	共	平成26年1月最新医療経営 フェイズ・スリー	日本医療企画	英国における医療介護の改革と現状についての報告
75 中国地域における日本酒ブランド確立および消費拡大についての方策検討調査	共	平成26年3月調査報告書	公益社団法人 ちゅうごく産業創造センター	国酒である日本酒産業を通じた地域産業の振興策の調査報告書。調査委員会委員長として統括
76 園芸療法・園芸福祉学の研究方法論	単	平成25年3月日本園芸療法学会誌 第5巻	日本園芸療法学会	岐阜市で開催された第五回日本園芸療法学会の教育講演要旨の論文化。
77 英国医療制度改革と地域ヘルスケアビジネスの創出—健康寿命延伸と認知症向けTelehealth services—	単	平成26年12月	ちゅうごく産業創造センター会報	英国における医療制度改革と地域ヘルスケアにおけるビジネスの創出について、健康寿命延伸や重症化予防プログラム特に認知症向けTelehealth services systemについて解説
78 「世界の医療・介護サービスの新潮流—NHS改革は第二段階」 前篇	共	平成26年12月最新医療経営 フェイズ・スリー	日本医療企画	一般医・家庭医 (G P) で構成される民間組織への予算執行件の委任による効率化といったNHS (国民保険制度) 改革の現状の報告

79 「世界の医療・介護サービスの新潮流—NHS改革は第二段階」 後編	共	平成27年1月最新医療経営フェイズ・スリー	日本医療企画	英国で進められている認知症対策としてのプライマリーケア機能の充実についての報告
80 高齢化社会におけるユニバーサルツーリズムを軸とした観光振興施策の検討調査	共	平成27年3月調査報告書	公益社団法人 ちゅうごく産業創造センター	高齢者や障害者が身体的制約あっても旅行に出かけることが出来る仕組みとして「ユニバーサルツーリズム」に注目し、観光関連サービス産業の振興により地域産業の活性化方策の抽出を目的に現状調査と予測についての調査報告書。調査委員会委員長として統括
81 健康サービス国際標準化調査報告書A229:A231	共	平成27年3月調査報告書	経済産業省、みずほ総合研究所、基準標イノベーション技術研究組合	保険外ヘルスケアサービスにおける国際標準化を進めるための委員会報告書。委員として、スペイン標準化協会、英国保健省のヒアリングを担当
82 ヘルスツーリズム国際標準化調査報告書	共	平成28年2月調査報告書	経済産業省商務情報政策課ヘルスケア産業課	ISOTC228観光関連サービスWG2ウエルネスツーリズムの国際標準化をにらんだ健康ツーリズムの国内標準化のための国際調査。
83 農林水産省日本発食品安全規格策定推進事業	共	平成29年2月委員会報告書	農林水産省企業行動局	日本食の安全衛生基準作定における委員会報告書。
84. バイオフィリックデザインによるリフレッシュルームの利用変化	共	平成29年(2018)年9月21-14日	第21回日本感性工学会大会	Change of activated caused by Biophilic Design at refresh room in the office 植物やハイレゾリフレッシュ音源、アロマによるオフィスのリフレッシュルームにおける利用者の利用変化の実証分析研究 柳川舞、吉長成恭、榎本誠也、坂本隆、加藤俊一
85. Multisensory Integration: Effect of lighting, sound and ambient scenting to support workers'	共	平成30年2019年3月17日	The 5th International Symposium on Affective Science and Engineering (ISASE2019)	感性デザインにおける、プレゼンテーションルームにおけるLED照明とハイレゾリフレッシュ音響および香りによる事務職の五感統合支援の検討。Mai YANAGAWA, Haruyuki YOSHINAGA, Izumi TAKAHASHI Seiya ENOMOTO, Takashi SAKAMOTO, and Toshikazu KATO
86. 2週間に一度のフラワーアレンジメントを楽しみながら行う認知症予防Dementia prevention through bi-weekly flower arranging activity (実践報告)	共	令和2年(2020)3月27日	日本認知症予防学会誌	2か所の通所サービスにおいて生花を用いるフラワーアレンジメントを隔週毎に1年間継続して行った。23名(平均年齢87.2歳)の対象者の認知機能の変化を3ヶ月毎のFAB検査で確認し、また毎回のフェーススケールのチェックや感想文を分析した結果、対象者の認知機能はフラワーアレンジメントを楽しむことにより、1年後も開始時レベルと有意差が無いことが確認でき、認知機能が維持されていることがわかった。進藤丈典・中川勝喜・石倉英樹・大塚 彰・吉長成恭
87. デジタル疲労に起因する慢性的ストレスに対する香りの影響 —長時間のビデオゲーム練習中に香りを使用した時の自律神経活動と睡眠の変化—	共	令和3年(2021)3月7日	第16回日本感性工学会春季大会	デジタル疲労に起因する慢性的なストレスに対する香りの影響を被験者が長時間のビデオゲーム練習中に香りを使用することにより自律神経活動と睡眠の変化を経時的変化を分析。柳川 舞、並木 恵祐、吉長成恭、澤地 あかり、坂本 隆、加藤 俊一
88. 理論Ⅰ「衛生管理」、「救急法」(テキスト監修)	共	令和3年3月31日	日本スパ・ウエルネス協会	エステティシャン養成校における最大3,000時間授業に用意されたテキストに関する改訂版の監修。衛生管理を担当 吉長成恭、太田浩平
89. 理論Ⅱ「解剖学」「運動生理学」	共	令和3年3月31日	日本スパ・ウエルネス協会	エステティシャン養成校における最大3,000時間授業に用意されたテキストに関する改訂版の監修。衛生管理を担当 吉長成恭、太田浩平
90. 理論Ⅲ「皮膚科学」「化粧品学」「栄養学」	単	令和3年3月31日	日本スパ・ウエルネス協会	エステティシャン養成校における最大3,000時間授業に用意されたテキストに関する改訂版の監修。衛生管理を担当 吉長成恭

(注)

- この書類は、学長(高等専門学校にあっては校長)及び専任教員について作成すること。
- 医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合、附属病院の長についてもこの書類を作成すること。
- 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。
- 「氏名」は、本人が自署すること。
- 印影は、印鑑登録をしている印章により押印すること。ただし、やむを得ない事由があるときは、省略することができる。

この場合において、「氏名」は、旅券にした署名と同じ文字及び書体で自署すること。